

《議題4》 令和2年度の検討議題について

《その他事項》

※令和2年度の参考とさせていただきます。

意見・質問	
1	<p>(久保部会員)</p> <p>わたしの道しるべを参考にして文京区バージョンを作ることに対しては賛成。ただし、</p> <p>①全体に文字が小さすぎる。上質な紙質を選んでおきながら、なぜA5サイズにしたのか。</p> <p>②在宅で過ごす癌末期患者を対象にしちるのであれば、拠点病院の情報などは今更不要ではないか。癌が見つかったばかりの方や化学療法のセカンドオピニオンを求めている人ならば、拠点病院の情報も必要かもしれないが、そのような方たちはこのパンフレットを読まないのでは。</p> <p>③マップや巻末のクリニックの一覧表を見ても、患者がこれをもとに何かを決めるようなアクションを起こせるのかどうか疑問。</p> <p>④緩和病棟の情報がほしい。クリニックや訪問看護ステーションは文京区の施設だけを載せればよいかもしれないが、緩和病棟は区を超えて広い範囲から検討できるようにする必要がある。</p> <p>⑤レスパイト入院で利用できる地域の病院の情報があっても良いかもしれない。</p> <p>どのような病状の人をターゲットにしているのかを明らかにした方が良い。それをもとにどのような情報を提供するか十分に検討する必要がある。</p>
2	<p>(宮本部会員)</p> <p>内容すべてについて今後議論していくのか。</p>
3	<p>(高梨部会員)</p> <p>No.9.いつも打診時に確認しているので、事前にわかっていると便利だと思う。</p> <p>No.10.院内の電子カルテシステムに組み込まれた書式であるため、フォーマットの統一は難しく、記載項目の検討とするのはどうか。</p>
4	<p>(片野部会員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援の周知と充実 ・がん資源マップ <p>両者ともにがん患者にとって重要な課題だと思う。癌を告知されてからではなく、日頃からこのような支援があることを区民に知らせることのできる取り組みを合わせて考えていけると役立つものになると思う。がん資源マップの中に仕事の両立支援の相談ができるところが入っていると良いと思う、</p>
5	<p>(溝尾部会員)</p> <p>がんの医療資源資料の作成</p>
6	<p>(中根部会員)</p> <p>区内で配食サービスを行っているリストがあればよいと思う。入院中は病院で適切な食事が提供できていても、在宅で準備できない、購入できない、配食サービスによっては食形態の選択ができない場合があり、退院時にサービスを勧める上で困惑する。また、事業者も常に変化するため、区内に配達エリアを持つ配食サービスリストと提供可能な食事形態リストがあると退院支援時に非常に役立ち、在宅で療養している高齢者や障害者も必要な情報だと思う。</p>

意見・質問	
7	<p>(根本部会員)</p> <p>災害時の文京区としての対策会議の機会がほしい。</p>
8	<p>(足達部会員)</p> <p>議題3の認知症診断後支援モデル事業と在宅高齢者の健康相談窓口当の支援を充実をしていただきたい。</p>
9	<p>(飯塚部会員)</p> <p>「地域と大学病院の連携について」へ意見</p> <p>文京区在宅医療検討部会等には大学病院の看護師の方がご出席されているが、退院が目前に迫り、在宅に戻られる患者さん(利用者さん)が速やかに介護サービスを利用するに当たっては、医療ソーシャルワーカーとの連携が欠かせません(医療介護の連携)。この会合へのMSWのご出席を検討していただきたい。</p>
10	<p>(中川部会員)</p> <p>文京区の高齢者は土地自宅はあるが、現金なく年金も少ない人が多いと思う。自宅処分しても高齢者が賃貸住宅に移りたいと希望しても貸してくれる人がいない(特に介護を受けていると)。しっかりした支援が必要だと思う(いろいろすすめてもオーナーのところまでストップ)。</p>
11	<p>(井関部会員)</p> <p>No.2のテーマ。本当に総合病院の先生方はお忙しく、ご自分の仕事を全うされているため、患者さん一人一人の概況や介護力、又は支援のかかわり方までを鑑みてくださる余裕がないように感じる。そのため、一人暮らしの方だとすぐ「在宅は無理ですね」と診断されることがほとんど。やり方は色々あるのに、といつも思っているため、遠方在住の家族はいつもそれで混乱されることが多い。</p>